



© 諫山創/講談社

天瀬

Amagase



3年振りの開催！案山子祭り

10月17日～11月13日、杉河内地区で開催された「杉河内案山子祭り」。この祭りは、地元の高齢者の有志14人で構成された「杉河内ふれあいサロン」のメンバーが、地域おこしにつなげようと平成25年から実施しているもの。新型コロナウイルス感染症の影響によって、今年は3年振りの開催となった。同サロンのメンバーが作ったユニークな案山子たちが、訪れた見学者を楽しませていた。



美しく咲き誇る秋のバラ

10月8日～16日、五馬市にある「ローズヒルあまがせ(天瀬農業公園)」で、秋のバラフェアが開催された。館内では、白い花びらのホワイトクイーンエリザベスをはじめ、約300品種、2,000株のバラが栽培されている。見頃を迎えた秋バラを愛でようと、多くの人たちが来場。華やかな香りに包まれた館内を歩きながら、赤や黄色など色鮮やかな花々を楽しんだ。

前津江

Maetsue



自然石堰堤と硫黄山跡地の景観を巡る

10月23日、天空の里・あかいしゆかいくらぶ主催の「赤石再発見ウォーク～第2弾～」が開催された。同地区の歴史に詳しい長谷部倫光さんが講師を務め、52人が参加。「赤石どん」までの案内看板設置を記念した第1弾に続く今回は、「赤石川 練石積堰堤を知らう！」と題して、堰堤用採石跡や硫黄採掘跡などを散策した。参加者は「赤石川堰堤群の歴史を学べて、勉強になった」と語った。



学校の花壇に300株の花が咲く

10月20日、前津江小学校で「第32回 花の輪運動」の贈呈式が行われた。これは、(公財)花と緑の農芸財団が主催する「育てよう、花と緑、校庭に、花の輪運動」で、全国の小学校に花や緑を贈呈しているもの。全国から300校が選ばれ、同小学校には4種300株の花苗が贈呈された。全校児童で植付けを行い、児童たちは「卒業式・入学式まで大切に育てます」と笑顔で話した。



まちの話題

日田

Hita



体からの“お便り”!? ウン知育教室

10月21日、中城町の中央児童館で、久留米ヤクルト販売(株)による「ウン知育教室」が開かれた。子育て家庭など総勢27人が参加し、良質な排便のために、食べ物や食に関する生活習慣を見直すことの大切さを学んだ。腸内細菌の仕組みに触れたり、腸トレ体操を実践したりするなど、参加者らにとって自身や家族の腸内環境に目を向ける良い機会となった。



市民健康福祉まつりを開催

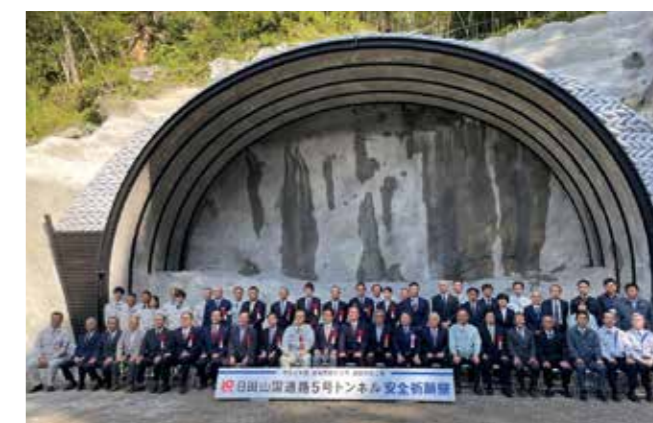
10月9日、パトリア日田と中央公園で、健康と福祉をテーマにした「第26回市民健康福祉まつり」が開催された。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小しながらも、表彰式典をはじめ、高齢者や障がい者(児)、園児による各種作品展、健康ひろば、福祉ひろば等のイベントを実施。会場は、たくさんの来場者で賑わいを見せていた。



© 諫山創/講談社

進撃の日田で、快挙!

10月26日、(株)講談社主催の「講談社メディアカンファレンス2022」が開催され、進撃の日田が「講談社メディアアワード2022」を受賞した。この賞は、2021年7月～2022年6月の期間に実施された未来志向の広告企画から、優れた企画に授与される名誉ある賞。贈賞式には、進撃の日田まちおこし協議会の稲葉会長(写真右から2番目)と市長が出席した。



トンネル工事着工 安全に!

10月22日、大分県が整備を進めている日田山国道路において、5号トンネルの着工に伴う安全祈願祭が執り行われた。長さ869mの5号トンネルは、計画されている5本のうち、最も市街地側に位置するトンネルとなる。市長は、「本市と中津市間の安全な通行や地域経済の活性化に果たす役割は、非常に大きい。工事の安全を祈念します」と挨拶した。